

# PARENT NEWSLETTER

岡山県立岡山操山高等学校  
第3学年 学年通信  
第3号  
平成20年7月29日

## Report Card

第2回学力テストの結果がまとまりましたので、お送りします。御確認ください。第1学年からここまでの成績が仮評定として、2学期に出願する際（AO入試、推薦入試等）にまとめられ、調査書資料となります。

## Parent-Student-Teacher Meeting

先日の保護者懇談では、暑い中お越しいただきありがとうございました。進路実現に向けて担任より「志望校の確認」「夏をどう制するか」等の話があったと思います。基本的には自らが立てた計画に従って勉強を進めていくこととなりますが、計画段階で躓いてしまったり、何をしたらいいのかわからないでは困ります。そのような時は迷わず担任あるいは教科担任まで相談に赴くよう、御助言ください。待っています。

## Showdown

さて、いよいよ夏休みとなりました。世間でよく言われるところの「天王山」：**showdown**（ポーカーで勝負の決着をつけるために持ち札をすべて見せること。対決。）であります。学力テスト最終日（7月10日）に行いました学年集会で生徒に向けて放ったメッセージを恥ずかしながら保護者の方へもお伝えしようと決心しました。

普段、学年集会が私の生徒を鼓舞するような演説で始まることはめったになく、学力テストの最終日に学年集会を必ず開くようなこともありませんでした。それだけに、今回の学年集会の目的を生徒は敏感に察知し、真剣に話を聞いてくれました。集会で私が話した内容は次のことです。

## Still Time for Decision

「何人国公立に入りそうですか？」「東大、京大へは現役で何人ですか？」

たしかに、最大の関心事であることに違いはありません。当然私も気になるところです。しかし、7月の今、その数を試算することにどれほどの意味があるのでしょうか？少なくとも生徒にとっては、合計数など意味はありません。それよりも今は目標を高く持ち、**motivation** を下げないことが最優先です。そこで、私は生徒には次のことを話しました。

「現在の君たちの学力を値踏みして、今年は国公立に何人という皮算用を今するつもりはありません。学年主任の立場として、それくらいはするものだという議論はあることは十分承知しています。が、しかし、たかが校外模試の判定が現在Cであろうと、Dであろうと、あるいはEであろうと、そう易々と学力（実際は学力というものほんの一部を測っているにすぎませんが）を値踏みされてはいけません。一生懸命B判定が出る学校を探すよりも、D判定の志望校をB判定に近づける努力をこの夏休みにするべきではないでしょうか？」

## Past Test Book with a Red Cover

思わず、「わあ、懐かしい！」と思われる方もいらっしゃるでしょう。いわゆる「赤本」です。大学ごとに「過去問」を数年分集め、詳しい解説、解答を掲載した受験生なら当然取り組む問題集ですが、次のような指示をしました。

「この夏休みに必ず過去問を解いてみてください。思うように解けないと思います。できないと思います。この時期に過去問に挑戦するのは、それによって問題が解けるようになるためではなく、今の自分の力では解けないということを認識するためです。そのことで、明確な目標設定ができるのです。必ず過去問に取り組んで、相手を知りなさい。」

赤本は、7月から順次刊行されますが、遅い大学は11月にならないと本年度入試分を含んだものが出ません。進路室では、過年度分の赤本を取り揃えており、借りることもできます。来年度入試用の発刊を待って購入する前に、過年度分に挑戦してほしいと思います。



## Supplemental Study

夏の補習は、全員の出席を求めるものが、文系は午前中4時間、理系はお昼を挟んで5時間。午後は延べ13の特別対策講座を設けることにしました。いろいろと議論があることを説明した上で、時間管理の話をしました。

「1日7時間きっちりと時間割が組まれ、朝から夕方まで教室にいれば勉強したのだという満足感と疲労感が残り、結果的にはその方が、君たちも我々も気持ちの上からは楽だったかもしれません。しかし、お互いが味わう満足感は、教室で座っていたというただそれだけのことや、こんなにも授業をしたというただそれだけのことになりかねない危うさを孕んでいます。時には、人に教えてもらうばかりでいるより、自ら学ぶ姿勢で臨むことも重要です。今がその時期なのだと思います。かといって、午後はお昼寝をしていけばよいではありません。自ら立てた計画に従って、きちんと自らの課題をこなしてほしいのです。また、対象や内容を絞り込んだ講座も希望者に用意しています。主体的な学習が、最大の効果を生むようこの夏休みを活用してください。補習のやり方には色々な議論がありますが、3年団の先生方が君たちに望むことは一つです。自らの時間管理です。補習に出席していることよりも難しいことですが、越えなければならない山であることは確かです。」がんばれ！受験生！

## 8月の予定

7月30日(水)～8月2日(土)	学習合宿(希望者)
8月4日(月)～8日(金)	自習室オープン
16日(土)～17日(日)	河合塾マーク模試
18日(月)～27日(水)	後期補習
28日(木)～29日(金)	第3回校内模擬テスト

(学年主任 小橋 雅彦)